



新 お子 つよい子 できる子

新井小学校たより 2月号

平成 31年 2月 20日

HPアドレス <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/arai-s/>

テレビやゲーム、インターネットなどと上手に付き合う

校長 川住晴彦

春に向かってまっすぐかと思いきや、久しぶりの降雪や厳しい寒さに身の縮む日もあります。しかし、日没が遅くなり、時折見せる青空や陽光がきらきら輝いて感じられ、春がすぐそこまで近付いているようです。

さて、2月4日(月)に、1年生が「豆まき集会」を開きました。1年生は、節分についての紙芝居を聞いたり、退治したい心の鬼を代表児童が発表したりして、いよいよ豆まきです。私は、「鬼のボス」として招待(?)されたので、それなりの格好をして参加しました。1年生が声をそろえて、「鬼は外! 福は内!」と声をそろえて豆をまきます。パワーに押されて、早々に退散しましたが、楽しいひとときでした。



その後、廊下に掲示されている1年生の一人一人の追い出したい鬼を見ると、「食べ過ぎ鬼」「おこり鬼」「こわがり鬼」「なまけ鬼」「泣き虫鬼」「がまんできない鬼」「音読きらい鬼」……。たくさんの追い出したい鬼がありました。

そんなたくさんの鬼の中で、1年生に限らず、新井っ子に追い出して欲しい鬼がいます。それは、「ゲームしすぎ鬼」「テレビ見すぎ鬼」「ネット依存鬼」です。



子どもだけでなく、私たち大人の日々の生活の中に、インターネットやテレビ、ゲーム、スマホなどが深く入り込んでいます。朝起きると、まずはテレビのスイッチを入れる。特に見たいと思っていないけれど、テレビがついている。気が付くと、一日のうちのかなりの時間、テレビのスイッチが入ったままではないでしょうか。タブレットも日常化し、寝るときにベッドや布団の中にも持ち込んでいる例もあります。さらには、暴力的なゲームに影響されて、乱暴な言動での問題行動に発展する事例もあります。

このような状況は、子どもだけでなく、大人も同様です。テレビやゲームは、こちらから求めなくても、一方的に入ってきてしまう。これに慣れてしまうと、ネットやテレビやゲーム無しで過ごすことができにくい依存症になってしまうのです。

直したい「鬼」は、誰でもいくつか持っていることでしょう。よく分かっているのだけれど、なかなか追い出せない(直せない)のが、自分の中にある「鬼」です。このような機会に自分を見つめ、考え、「直そう」と意識することが大事なのだと思います。

私も、「食べ過ぎ(飲み過ぎ)鬼」「気短か鬼」を追い出せるように、がんばりたいと思います。

朝のテレビは、時計代わりや天気などの情報を知るために。親子でゲームを楽しみ、ふれあいを深める。テレビやゲームは、私たちの生活になくはならないものになっているのですから、すべてを否定するつもりはまったくありません。テレビやゲームだけでなく、インターネットや新聞、読書などのメディアと上手に付き合っていくことを考えていきたいものだと思います。

＜学年の活動紹介＞

おおぞら 1年生



鬼は外！福は内！「おおぞら豆まき集会」

1年生で豆まき集会をしました。節分についての紙芝居を聞いたり、退治したい心の鬼を代表者が発表したりしました。そして、鬼のボスが登場！さらに豆まき（豆の代わりに紙を丸めたボールを使用）が盛り上がりました。これで、みんなの心の鬼がやっつけられたはずですよ！

ちなみに、子どもたちのやっつけたい鬼は、いぼりんぼう鬼・いじわる鬼・ゲームしちゃう鬼などでした。

つばさ 2年生

スキー 大好き！

2年生1，2月の体育は、スキーです。昨年の経験が生きて、スキー道具の準備、板との着脱をスムーズに行う子が多く見られ、成長を感じます。授業では、ストックを使わずに走ったり、板を大きく滑らせたりすることを練習しています。

はね馬アリーナの脇に行き、坂を滑ったり、登ったりもしました。坂を登るのに苦労する子もいましたが、下りになると楽しそうに滑っていました。子どもたちがスキーを楽しみ、好きになるように学習を進めていきます。



かがやき 3年生

がんばりました！アルペンスキー教室

3年生は、2月8日（金）に、池の平スキー場でアルペン教室を実施しました。半数以上の児童は、アルペンスキー初体験でした。

雪が降り続く状況の中、子どもたちはとてもがんばりました。指導者の皆さんの温

かくも細やかな指導のもと、弱音を吐かず滑り続け、技術も大きく向上しました。初心者のグループも全員がリフトに乗り、滑って降りてきました。



片足だけ板を履いて、
まず歩いてみました！

止まり方を教えてもらい、
初めて滑ります！

にじいろ 4年生

思い出に残る 10 歳を祝う会・親子 PTC 活動

1月29日(火)に、10才を祝う会と親子PTCを行いました。第1部では、ダンスの発表、呼びかけと歌の発表、最後に「にじいろアニバーサリー」の本をお家の方と一緒に見ました。



第2部では、絵手紙、消しゴムはんこ、色紙の3つの製作活動に取り組みました。色紙作りでは、子どもたちの手形をとった後、親子で10才を祝う言葉などのメッセージを書きました。

今回作った絵手紙は、10年後に子どもたちのもとへ届く予定です。20歳になった子どもたちが、その絵はがきを見て、10才を祝う会のことを思い出したり、今までの自分の成長について少しでも考えたりしてくれると嬉しいです。

たいよう 5年生

伝統を引き継いだ移杖式！



2月5日(火)、マーチング移杖式が行われました。新井小の伝統の一つ引き継いだ5年生は、いつも以上に楽器の重さを感じつつ、高学年らしく凜々しい顔をしていました。お家の方からの応援やこれまで練習してきた自信が子どもたちの力になったことが、子どもたちの作文に表れていました。

～子どもの作文から～

「拍手やみんなからの視線をたくさんもらいたいと思いながら本番をむかえました。」

「今日の式では、最後まで、楽器の重さに耐えられました。」

「チームたいようが、また一歩進んだと思います。」

「もっと6年生の演奏に近付きたいです。」

「下学年が、ぼくたちのマーチングを見て、やりたいと思ってくれたら嬉しいです。」

「聞いてくれる人が、あっと驚くようなマーチングをやっていきたいです。」

たいようマーチングバンドは確かな一歩を踏み出しました。6年生に向けて、今後も成長していきます。



ひまわり 6年生

最高の仲間と最高のステージを！



6年生にとって最後の演奏の舞台となる、マーチング移杖式が行われました。

この日を楽しみにしていた反面、「移杖したくない」「まだ続けたい」と、本番を迎えたくないという思いをもつ子もいました。それほど、マーチングにかける子どもたちの気持ちは強いものでした。

本番では、自分が満足できる演奏を目指して、一人一人が自分の全力を出し切りました。演奏後の晴れ晴れとした表情を見て、担任一同目頭が熱くなりました。1年3か月という長い期間、マーチングを通して多くのことを学び、成長した子どもたち。卒業まで残りわずかとなりましたが、76人のさらなる活躍を期待しています。

信越学童親善スキー大会の結果

晴天の中、2月15日(金)に信越学童スキー大会が行われました。

新井小からは、特設スキー部がクロスカントリー競技の男子3キロ・女子2キロの個人種目と男女のリレー、アルペン競技の大回転に参加しました。

1～6年生の児童が、夏は陸上トレーニング、冬は雪の上で練習に励んだ力を発揮しました。地域・保護者の皆様から温かい応援をいただき、ありがとうございました。

第66回 信越学童親善スキー大会
第3位

種目 男子リレー

新井 小学校
内田 翔介 大宮 魁和
田中 丞徳 球内 新次

白銀のなか
力の限りをつくし
流した汗と
勝利を讃えます

平成31年2月15日

新潟県妙高市教育委員会

第66回 信越学童親善スキー大会
第5位

種目 女子リレー

新井 小学校
松崎 光徳 小島 燕星
相浦 依莉紗

白銀のなか
力の限りをつくし
流した汗と
勝利を讃えます

平成31年2月15日

新潟県妙高市教育委員会

「おはよう」が、いっぱい！～3学期のあいさつ運動から～

1年生は、玄関に「おおぞら挨拶ロード」を作り、挨拶シャワーを全校にたくさんかけました。3年生は、横断幕をもって、各教室に大きな声で挨拶して回りました。各学年で話し合い、取組を工夫しています。自分から挨拶することの良さ、大切さに気付く機会でもあります。

おはよう
ございます！

